

議 第 2 0 号

令 和 5 年 度

吉野町水道事業特別会計予算書

吉 野 町

目 次

1. 令和5年度吉野町水道事業特別会計予算書

<u>令和5年度吉野町水道事業特別会計予算</u>	1頁
<u>令和5年度吉野町水道事業特別会計予算実施計画</u>	3頁
<u>令和5年度吉野町水道事業特別会計予定キャッシュ・フロー計算書</u>	4頁
<u>給与費明細書</u>	5頁
<u>令和5年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表</u>	9頁
<u>令和5年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項</u>	11頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計予定損益計算書（前年度分）</u>	13頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表（前年度分）</u>	15頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項（前年度分）</u>	17頁
<u>令和5年度吉野町水道事業特別会計予算説明書</u>	19頁

令和5年度吉野町水道事業特別会計予算

(総則)

第1条 令和5年度吉野町水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数 (開栓戸数)	3,750件
(2) 年間総給水量	675,120m ³
(3) 一日平均給水量	1,850m ³
(4) 主な建設改良事業等の事業費	橋屋地区配水管布設替工事
	51,612千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款	水道事業収益	378,550千円
第1項	営業収益	175,640千円
第2項	営業外収益	202,860千円
第3項	特別利益	50千円
支 出		
第1款	水道事業費用	378,210千円
第1項	営業費用	353,340千円
第2項	営業外費用	22,670千円
第3項	特別損失	200千円
第4項	予備費	2,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額142,050千円は当年度分損益勘定留保資金130,142千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額11,908千円で補てんするものとする。)。

収 入		
第1款	資本的収入	185,230千円
第1項	企業債	89,700千円
第2項	工事負担金	2,200千円
第3項	他会計補助金	62,830千円
第4項	出資金	30,500千円
支 出		
第1款	資本的支出	327,280千円
第1項	建設改良費	149,040千円
第2項	企業債償還金	178,240千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
橋屋地区 配水管布 設替工事 他	89,700 千円	証書借入 又は 証券発行	3% 以内	政府資金又は地方公共団体金融機構資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その債権者と協定するものとする。ただし、財政その他の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換えすることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、15,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 収益的支出における各項間の流用
- (2) 資本的支出における各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費

37,440千円

(他会計からの補助金)

第9条 高料金対策に要する経費、統合水道に係る建設改良に要する経費及び繰越欠損金補填のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、174,280千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、2,761千円と定める。

令和 5 年 3 月 日提出

吉 野 町 長 中 井 章 太

令和5年度吉野町水道事業特別会計予算実施計画

収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入

款	項	目	予定額	備考
1. 水道事業収益			378,550	
	1. 営業収益		175,640	
		1. 給水収益	174,150	
		2. 受託工事収益	50	
		3. その他営業収益	1,440	
	2. 営業外収益		202,860	
		1. 受取利息	10	
		2. 給水分担金	330	
		3. 使用料	8,550	
		4. 雑収益	190	
		5. 他会計補助金	111,450	
		6. 消費税	3,840	
		7. 長期前受金戻入益	78,490	
	3. 特別利益		50	
		1. 特別利益	50	

支 出

款	項	目	予定額	備考
1. 水道事業費用			378,210	
	1. 営業費用		353,340	
		1. 原水及び浄水費	43,900	
		2. 配水及び給水費	45,410	
		3. 総係費	24,880	
		4. 減価償却費	239,150	
	2. 営業外費用		22,670	
		1. 支払利息	22,670	
		2. 雑支出	0	
	3. 特別損失		200	
		1. 特別損失	200	
	4. 予備費		2,000	
		1. 予備費	2,000	

資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入

款	項	目	予定額	備考
1. 資本的収入			185,230	
	1. 企業債		89,700	
		1. 企業債	89,700	
	2. 工事負担金		2,200	
		1. 工事負担金	2,200	
	3. 他会計補助金		62,830	
		1. 他会計補助金	62,830	
	4. 出資金		30,500	
		1. 出資金	30,500	

支 出

款	項	目	予定額	備考
1. 資本的支出			327,280	
	1. 建設改良費		149,040	
		1. 施設改良費	148,820	
		2. 固定資産購入費	220	
	2. 企業債償還金		178,240	
		1. 企業債償還金	178,240	

令和5年度吉野町水道事業特別会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位：円)

1 事業活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純損失	△ 11,798,612
減価償却費	239,150,000
資産減耗費	0
材料費	2,510,000
退職給付引当金の増加額	0
賞与引当金等の増加額	21,180
修繕引当金等の増加額	2,000,000
貸倒引当金の増加額	0
雑収入(4条特定収入消費税調整額)	0
長期前受金戻入額	△ 78,490,000
受取利息及び配当金	△ 10,000
支払利息及び企業債取扱諸費	22,670,000
営業及び営業外未収金増加額	△ 18,441,297
営業及び営業外未払金・未払費用増加額	867,246
前払金・前払費用増加額	0
前受金・仮受金増加額	0
その他流動負債の増加額	0
その他流動資産の増加額	0
小計	<u>158,478,517</u>
受取利息及び配当金	10,000
支払利息及び企業債取扱諸費	<u>△ 22,670,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー①	<u>135,818,517</u>
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 139,641,819
国庫補助金による収入	0
他会計補助金による収入	0
工事負担金による収入	2,200,000
投資活動によるキャッシュ・フロー②	<u>△ 137,441,819</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	89,700,000
建設改良等の財源に充てるための企業債償還による支出	△ 178,240,000
その他の企業債による収入	0
その他の企業債償還による支出	0
建設改良等の財源に充てるための他会計借入金による収入	0
建設改良等の財源に充てるための他会計借入金償還による支出	0
その他の他会計借入金による収入	0
その他の他会計借入金償還による支出	0
リース債務の支払	0
出資金の受入額	93,330,000
一般会計補助金の受入額	0
財務活動によるキャッシュ・フロー③	<u>4,790,000</u>
資金増加額(又は減少額)④=①+②+③	3,166,698
資金期首残高	<u>202,103,902</u>
資金期末残高	<u><u>205,270,600</u></u>

給 与 費 明 細 書

1. 総括

(単位：千円)

区分	職員数	給与費			法定 福利費	退職 給与金	合 計	
		給料	手当	計				
当 年 度	損益勘定支弁職員	9	10,349	4,990	15,339	2,341	1,537	19,217
	資本勘定支弁職員	2	8,653	5,369	14,022	2,653	1,472	18,147
	計	11	19,002	10,359	29,361	4,994	3,009	37,364
前 年 度	損益勘定支弁職員	8	8,580	4,873	13,453	2,036	1,147	16,636
	資本勘定支弁職員	2	8,587	5,977	14,564	2,892	1,460	18,916
	計	10	17,167	10,850	28,017	4,928	2,607	35,552
比 較	損益勘定支弁職員	1	1,769	117	1,886	305	390	2,581
	資本勘定支弁職員	0	66	△ 608	△ 542	△ 239	12	△ 769
	計	1	1,835	△ 491	1,344	66	402	1,812

手 当 の 内 訳	区分	期末勤勉	扶養	児童	通勤	時間外 勤務	住居	管理職	管理職 特勤
	本年度	6,397	414	0	306	2,756	0	456	30
	前年度	6,082	774	420	325	2,430	336	456	27
	比較	315	△ 360	△ 420	△ 19	326	△ 336	0	3

ア 会計年度任用職員以外の職員

区分	職員数	給与費			法定 福利費	退職 給与金	合 計	
		給料	手当	計				
当 年 度	損益勘定支弁職員	2	6,511	3,903	10,414	1,955	1,107	13,476
	資本勘定支弁職員	2	8,653	5,369	14,022	2,653	1,472	18,147
	計	4	15,164	9,272	24,436	4,608	2,579	31,623
前 年 度	損益勘定支弁職員	2	6,746	4,511	11,257	1,971	1,147	14,375
	資本勘定支弁職員	2	8,587	5,977	14,564	2,892	1,460	18,916
	計	4	15,333	10,488	25,821	4,863	2,607	33,291
比 較	損益勘定支弁職員	0	△ 235	△ 608	△ 843	△ 16	△ 40	△ 899
	資本勘定支弁職員	0	66	△ 608	△ 542	△ 239	12	△ 769
	計	0	△ 169	△ 1,216	△ 1,385	△ 255	△ 28	△ 1,668

手 当 の 内 訳	区分	期末勤勉	扶養	児童	通勤	時間外 勤務	住居	管理職	管理職 特勤
	本年度	5,802	414	0	170	2,400	0	456	30
	前年度	5,800	774	420	275	2,400	336	456	27
	比較	2	△ 360	△ 420	△ 105	0	△ 336	0	3

イ 会計年度任用職員

区分	職員数	給与費			法定 福利費	退職 給与金	合 計	
		給料	手当	計				
当 年 度	損益勘定支弁職員	7	3,838	1,087	4,925	386	430	5,741
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	3,838	1,087	4,925	386	430	5,741
前 年 度	損益勘定支弁職員	6	1,834	362	2,196	65	0	2,261
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	1,834	362	2,196	65	0	2,261
比 較	損益勘定支弁職員	1	2,004	725	2,729	321	430	3,480
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2,004	725	2,729	321	430	3,480

手 当 の 内 訳	区分	期末勤勉	扶養	児童	通勤	時間外 勤務	住居	管理職	管理職 特勤
	本年度	595	0	0	136	356	0	0	0
	前年度	282	0	0	50	30	0	0	0
	比較	313	0	0	86	326	0	0	0

2. 給料及び手当の増減額の内訳

(単位：千円)

区分	増減額	増減事由別内訳		説明	備考
給料	1,835	昇給に伴う増減分	119		平均昇給率 1.4105%
		その他の増減分	1,716		人事異動 3.0人
手当	△ 491	その他の増減額	△ 491	前記1.総括欄の手当の内訳のとおり	

3. 給料及び手当の状況

(1) 職員一人当たりの給与

区 分		事務、技術職給料表	
令和5年1月1日現在	平均給料月額 (千円)	313	
	平均給与月額 (千円)	333	
	平均年齢 (歳)	44	
令和4年1月1日現在	平均給料月額 (千円)	312	
	平均給与月額 (千円)	351	
	平均年齢 (歳)	44	

(2) 初任給

(単位：円)

区分	一般行政職	技能労務職	一般会計の制度	
			一般行政職	技能労務職
高校卒	154,600	143,800	154,600	136,200
短大卒	167,100	—	167,100	—
大学卒	185,200	163,300	185,200	—

(3) 級別職員数

区 分	事務、技術職		
	級	職員数	構成比
令和5年1月1日現在	1級	1	25%
	2級	—	—
	3級	2	50%
	4級	—	—
	5級	1	25%
	6級	—	—
	計	4	100%
令和4年1月1日現在	1級	—	—
	2級	1	25%
	3級	2	50%
	4級	—	—
	5級	1	25%
	6級	—	—
	計	4	100%

(級別の標準的な職務内容)

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
一般行政職	主事、主事補の職務	主査及びこの職務に相当する職務	主任及びこの職務に相当する職務。高度の知識又は経験を必要とする主査及びこの職務に相当する職務	課長補佐及びこの職務に相当する職務	課長、主幹及びこの職務に相当する職務	参事及びこの職務に相当する職務

(4) 期末、勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率	備 考
	6 月	1 2 月		
本年度	2.175ヵ月	2.175ヵ月	4.35ヵ月	
前年度	2.125ヵ月	2.125ヵ月	4.25ヵ月	
一般会計の制度	2.175ヵ月	2.175ヵ月	4.35ヵ月	

(5) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同
扶養手当	同一
調整手当	同一
住居手当	同一
通勤手当	同一

令和5年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表
(令和6年3月31日)

(単位：円 税抜)

資産の部

1 固定資産

(1)有形固定資産

イ 土地 169,641,272

ロ 建物 154,555,040

減価償却累計額 △ 81,933,124 72,621,916

ハ 構築物 7,440,711,445

減価償却累計額 △ 3,278,933,200 4,161,778,245

ニ 機械及び装置 2,063,739,143

減価償却累計額 △ 1,472,045,945 591,693,198

ホ 車両及び運搬具 8,713,000

減価償却累計額 △ 8,277,350 435,650

ヘ 器具及び備品 12,594,427

減価償却累計額 △ 8,134,847 4,459,580

ト 建設仮勘定 24,467,000

有形固定資産合計 5,025,096,861

(2)無形固定資産

イ ソフトウェア 16,501,324

ロ 水利権 76,943,432

無形固定資産合計 93,444,756

固定資産合計

5,118,541,617

2 流動資産

(1)現金預金 205,270,600

(2)未収金

イ 現年度分未収金 57,952,669

ロ 過年度分未収金 1,600,000

未収金合計 59,552,669

(3)貸倒引当金 △ 1,300,000

流動資産合計

263,523,269

資産合計

5,382,064,886

負債の部

3 固定負債

(1)企業債 1,830,620,833

(2)引当金 6,500,000

固定負債合計

1,837,120,833

4 流動負債

(1)未払金 16,005,756

(2)預かり金 2,003,930

(3)企業債 179,681,980

(4)引当金 2,337,120

流動負債合計

200,028,786

5 繰延収益

(1)長期前受金

イ 工事負担金 1,394,382,671

ロ 国庫補助金 1,495,617,579

ハ 県補助金 385,861,485

ニ 一般会計補助金 9,416,865

ホ 工事寄付金 47,588,216

ヘ 水力発電交付金 12,477,500

ト その他資本剰余金 188,071,745

長期前受金合計 3,533,416,061

(2)長期前受金			
収益化累計額			
イ 工事負担金	△ 777,291,863		
ロ 国庫補助金	△ 767,902,071		
ハ 県補助金	△ 255,888,530		
ニ 一般会計補助金	△ 5,925,622		
ホ 工事寄付金	△ 32,065,066		
ヘ 水力発電交付金	△ 8,043,790		
ト その他資本剰余金	△ 72,971,893		
長期前受金			
収益化累計額合計		△ 1,920,088,835	
繰延収益合計			<u>1,613,327,226</u>
負債合計			<u>3,650,476,845</u>
資本の部			
6 資本金			
(1)自己資本金			
イ 固有資本金	49,023,057		
ロ 繰入資本金	1,406,083,555		
ハ 組入資本金	245,270,314		
自己資本金合計		<u>1,700,376,926</u>	
資本金合計			1,700,376,926
7 剰余金			
(1)資本剰余金			
イ 工事負担金	84,664,434		
ロ 国庫補助金	14,204,000		
ハ 県補助金	7,563,000		
ニ 一般会計補助金	808,085		
ホ 工事寄附金	49,499,163		
ヘ その他資本剰余金	1,092,000		
資本剰余金合計		157,830,682	
(2)利益剰余金			
イ 減債積立金	97,965,247		
ロ 利益積立金	0		
ハ 建設改良積立金	43,619,604		
ニ 当年度未処分利益剰余金			
〔 △の場合は 〕			
〔 未処理欠損金 〕	△ 268,204,418		
利益剰余金合計			
〔 △の場合は 〕			
〔 欠損金 〕		△ 126,619,567	
剰余金合計			<u>31,211,115</u>
資本合計			<u>1,731,588,041</u>
負債+資本合計			<u>5,382,064,886</u>

令和5年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品
先入れ先出し原価法による。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

建物及び附属設備	10～60年
構築物	10～60年
機械及び装置	5～20年
車両及び運搬具	4年
工具器具及び備品	2～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

ソフトウェア	5年
水利権	20年

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

本町は、退職手当組合に加入しており、水道事業特別会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業特別会計が一般会計に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業特別会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 特別修繕引当金

設備等に係る定期修繕費用の支出に備えるため、支出見込額のうち前回の定期修繕の日から当年度末までの期間に対応する額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

1. 予定キャッシュ・フロー計算書等の表示方法

間接法による

Ⅲ. 予定貸借対照表等に関する注記

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は657,641千円である。

2. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和5年度において、期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として7,592千円を支給することとなったため、賞与引当金2,313千円を取り崩した。

令和4年度吉野町水道事業特別会計予定損益計算書（前年度分）（単位：円 税抜）
（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

1 営業収益			
(1) 給水収益	163,946,940		
(2) 受託工事収益	71,558		
(3) その他営業収益	1,095,642	165,114,140	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	33,904,923		
(2) 配水及び給水費	34,756,257		
(3) 受託工事費	0		
(4) 総係費	22,665,490		
(5) 減価償却費	237,299,538	328,626,208	
営業利益			
(△の場合は営業損失)			△ 163,512,068
3 営業外収益			
(1) 受取利息	20,000		
(2) 給水分担金	840,000		
(3) 使用料	8,254,254		
(4) 雑収益	676,884		
(5) 他会計補助金	43,638,073		
(6) 長期前受金戻入益	79,138,343	132,567,554	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	23,895,880		
(2) 雑支出	670,894	24,566,774	108,000,780
経常利益			
(△の場合は経常損失)			△ 55,511,288
5 特別利益			
(1) 特別利益	0	0	
6 特別損失			
(1) 特別損失	127,220	127,220	△ 127,220
当年度純利益			
(△の場合は純損失)			△ 55,638,508
前年度繰越利益剰余金			
(△の場合は繰越欠損金)			△ 200,767,298
当年度未処分利益剰余金			
(△の場合は未処理欠損金)			△ 256,405,806

令和4年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表（前年度分）
（令和5年3月31日）

（単位：円 税抜）

資産の部

1 固定資産

(1)有形固定資産

イ 土地 169,641,272

ロ 建物 154,555,040

減価償却累計額 △ 78,779,124 75,775,916

ハ 構築物 7,363,792,445

減価償却累計額 △ 3,128,236,200 4,235,556,245

ニ 機械及び装置 2,014,847,779

減価償却累計額 △ 1,398,095,945 616,751,834

ホ 車両及び運搬具 8,713,000

減価償却累計額 △ 8,277,350 435,650

ヘ 器具及び備品 12,364,126

減価償却累計額 △ 6,495,847 5,868,279

ト 建設仮勘定 16,262,000

有形固定資産合計 5,120,291,196

(2)無形固定資産

イ ソフトウェア 18,511,960

ロ 水利権 81,753,432

無形固定資産合計 100,265,392

固定資産合計

5,220,556,588

2 流動資産

(1)現金預金 202,103,902

(2)未収金

イ 現年度分未収金 39,581,829

ロ 過年度分未収金 1,529,543

未収金合計 41,111,372

(3)貸倒引当金 △ 1,300,000

流動資産合計

241,915,274

資産合計

5,462,471,862

負債の部

3 固定負債

(1)企業債 1,920,602,813

(2)引当金 4,500,000

固定負債合計

1,925,102,813

4 流動負債

(1)未払金 15,138,510

(2)預かり金 2,003,930

(3)企業債 178,240,000

(4)引当金 2,312,730

流動負債合計

197,695,170

5 繰延収益

(1)長期前受金

イ 工事負担金 1,392,182,671

ロ 国庫補助金 1,495,617,579

ハ 県補助金 385,861,485

ニ 一般会計補助金 9,416,865

ホ 工事寄付金 47,588,216

ヘ 水力発電交付金 12,477,500

ト その他資本剰余金 188,071,745

長期前受金合計 3,531,216,061

(2)長期前受金			
収益化累計額			
イ 工事負担金	△ 747,811,863		
ロ 国庫補助金	△ 733,492,071		
ハ 県補助金	△ 249,868,530		
ニ 一般会計補助金	△ 5,705,622		
ホ 工事寄付金	△ 31,025,066		
ヘ 水力発電交付金	△ 7,773,790		
ト その他資本剰余金	△ 65,921,893		
長期前受金			
収益化累計額合計		△ 1,841,598,835	
繰延収益合計			<u>1,689,617,226</u>
負債合計			<u>3,812,415,209</u>
資本の部			
6 資本金			
(1)自己資本金			
イ 固有資本金	49,023,057		
ロ 繰入資本金	1,312,753,555		
ハ 組入資本金	215,419,918		
自己資本金合計		<u>1,577,196,530</u>	
資本金合計			1,577,196,530
7 剰余金			
(1)資本剰余金			
イ 工事負担金	84,664,434		
ロ 国庫補助金	14,204,000		
ハ 県補助金	7,563,000		
ニ 一般会計補助金	808,085		
ホ 工事寄附金	49,499,163		
ヘ その他資本剰余金	1,092,000		
資本剰余金合計		157,830,682	
(2)利益剰余金			
イ 減債積立金	97,965,247		
ロ 利益積立金	0		
ハ 建設改良積立金	73,470,000		
ニ 当年度未処分利益剰余金			
〔 △の場合は 〕			
〔 未処理欠損金 〕	△ 256,405,806		
利益剰余金合計			
〔 △の場合は 〕			
〔 欠損金 〕		△ 84,970,559	
剰余金合計			<u>72,860,123</u>
資本合計			<u>1,650,056,653</u>
負債+資本合計			<u>5,462,471,862</u>

令和4年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項（前年度分）

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品
先入れ先出し原価法による。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

建物及び附属設備	10～60年
構築物	10～60年
機械及び装置	5～20年
車両及び運搬具	4年
工具器具及び備品	2～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

ソフトウェア	5年
水利権	20年

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

本町は、退職手当組合に加入しており、水道事業特別会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業特別会計が一般会計に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業特別会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 特別修繕引当金

設備等に係る定期修繕費用の支出に備えるため、支出見込額のうち前回の定期修繕の日から当年度末までの期間に対応する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不能欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

1. 予定キャッシュ・フロー計算書等の表示方法

間接法による

Ⅲ. 予定貸借対照表等に関する注記

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は720,421千円である。

2. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として6,447千円を支給することとなったため、賞与引当金2,318千円を取り崩した。

令和5年度吉野町水道事業特別会計予算説明書

収益的収入

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 水道事業収益			378,550	346,180	32,370
	1. 営業収益		175,640	179,620	△ 3,980
		1. 給水収益	174,150	178,250	△ 4,100
		2. 受託工事収益	50	30	20
		3. その他営業収益	1,440	1,340	100
	2. 営業外収益		202,860	166,510	36,350
		1. 受取利息	10	70	△ 60
		2. 給水分担金	330	220	110
		3. 使用料	8,550	8,390	160
		4. 雑収益	190	1,020	△ 830
		5. 他会計補助金	111,450	78,300	33,150
		6. 消費税	3,840	330	3,510
		7. 長期前受金戻入益	78,490	78,180	310
	3. 特別利益		50	50	0
		1. 特別利益	50	50	0
収益的収入合計			378,550	346,180	32,370

収益的支出

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 水道事業費用			378,210	366,770	11,440
	1. 営業費用		353,340	339,850	13,490
		1. 原水及び浄水費	43,900	39,840	4,060

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 水道料金	174,150	水道料金
1. 材料売却収益	50	新規加入時等材料
1. 材料売却収益	160	町営住宅メーター代
2. 手数料	1,090	料金徴収事務(下水・農排)・休止開栓
3. 雑収益	190	料金システム保守(下水・農排)
1. 受取利息	10	預金利息
1. 給水分担金	330	新規加入分担金(一般 3件)
1. 庁舎使用料	8,550	飯貝庁舎使用料(下水・農排・環境・まちづくり)
1. 雑収益	190	ダム警報装置土地賃借・漁協電気 外
1. 一般会計補助金	111,450	高料金対策・企業債償還利息・累積欠損金補填
1. 消費税及び地方消費税還付金	3,840	
1. 工事負担金長期前受金戻入	29,480	
2. 国庫補助金長期前受金戻入	34,410	
3. 県補助金長期前受金戻入	6,020	
4. 一般会計補助金長期前受金戻入	220	
5. 工事寄付金長期前受金戻入	1,040	
6. 水力発電交付金長期前受金戻入	270	
7. その他資本剰余金長期前受金戻入	7,050	
1. 過年度損益修正	50	

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 給料	270	会計年度任用職員5名分
2. 備消耗品費	270	浄水施設用消耗品
3. 委託料	4,530	保守(計装機器・ポンプ・電気)・施設清掃
4. 手数料	3,000	水質検査
5. 修繕料	9,240	浄水場内設備修理 外
6. 動力費	15,840	飯貝浄水場電気代
7. 薬品費	3,350	塩素・PAC
8. 負担金	3,200	水質検査センター組合・ダム
9. 工事請負費	2,200	飯貝浄水場排水処理施設汚泥引抜工事
10. 特別修繕引当金繰入額	2,000	活性炭ろ過機ろ材交換

款	項	目	本年度	前年度	比較
		2. 配水及び給水費	45,410	37,480	7,930
		3. 総係費	24,880	25,370	△ 490
		4. 減価償却費	239,150	237,160	1,990
	2. 営業外費用		22,670	24,720	△ 2,050
		1. 支払利息	22,670	24,020	△ 1,350
		2. 雑支出	0	700	△ 700
	3. 特別損失		200	200	0
		1. 特別損失	200	200	0
	4. 予備費		2,000	2,000	0
		1. 予備費	2,000	2,000	0
収益の支出合計			378,210	366,770	11,440

節		備考
区分	金額	
1. 給料	3,570	会計年度任用職員2名分
2. 手当	1,100	会計年度任用職員2名分
3. 備消耗品費	530	配水施設用消耗品
4. 通信運搬費	1,670	テレメーター・施設警報通知用電話・施設監視カメラ用Wifi
5. 委託料	4,830	検針業務・漏水調査業務
6. 賃借料	580	施設用地借地料
7. 修繕料	11,390	漏水修理 外
8. 動力費	15,180	加圧ポンプ電気代
9. 材料費	2,510	量水器・漏水修理材料
10. 工事請負費	4,050	量水器取替
1. 給料	6,520	職員2名分
2. 手当	3,100	職員2名分
3. 法定福利費	2,190	職員2名分、会計年度任用職員2名分
4. 旅費	80	出張旅費
5. 退職給与金	1,540	職員2名分、会計年度任用職員1名分
6. 備消耗品費	780	事務用品
7. 燃料費	990	公用車ガソリン
8. 印刷製本費	290	料金システム帳票類 外
9. 通信運搬費	790	電話代・郵送料
10. 委託料	2,330	システム保守(会計・料金・管路・積算)・システム変更(会計)
11. 手数料	490	口座振替・コンビニ収納・車検 外
12. 賃借料	820	リース(公用車・複写機)・職員駐車場土地
13. 修繕料	990	公用車修理 外
14. 会費負担金	110	日本水道協会・奈良県簡易水道協会
15. 保険料	520	施設・公用車・検針員
16. 雑費	510	浄化槽点検・庁舎清掃用品 外
17. 公課費	50	自動車重量税
18. 使用料	550	複写機・ケーブル共架料
19. 光熱水費	1,250	庁舎電気・水道・ガス
20. 賞与引当金繰入額	980	職員2名分(期末勤勉手当・共済期末)
1. 有形固定資産減価償却費	229,440	建物・構築物・機械及び装置・工具器具備品
2. 無形固定資産減価償却費	9,710	ソフトウェア・水利権
1. 企業債利息	22,670	
1. 雑支出	0	
1. 過年度損失修正	200	期間外損益修正
1. 予備費	2,000	

資本的收入

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 資本的收入			185,230	172,940	12,290
	1. 企業債		89,700	80,400	9,300
		1. 企業債	89,700	80,400	9,300
	2. 工事負担金		2,200	7,700	△ 5,500
		1. 工事負担金	2,200	7,700	△ 5,500
	3. 他会計補助金		62,830	67,440	△ 4,610
		1. 他会計補助金	62,830	67,440	△ 4,610
	4. 出資金		30,500	17,400	13,100
		1. 出資金	30,500	17,400	13,100
資本的收入合計			185,230	172,940	12,290

資本の支出

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 資本の支出			327,280	312,930	14,350
	1. 建設改良費		149,040	130,130	18,910
		1. 施設改良費	148,820	130,130	18,690
		2. 固定資産購入費	220	0	220
	2. 企業債償還金		178,240	182,800	△ 4,560
		1. 企業債償還金	178,240	182,800	△ 4,560
資本の支出合計			327,280	312,930	14,350

(単位：千円)

節		備考
区分	金額	
1. 企業債	89,700	配管(橋屋・丹治)・ホップ(檜井・御園)・エレメーター(飯貝-南大野・飯貝-三津) 外
1. 工事負担金	2,200	消火栓工事(橋屋)
1. 一般会計補助金	62,830	企業債償還元金
1. 出資金	30,500	配管(橋屋)

(単位：千円)

節		備考
区分	金額	
1. 給料	8,660	職員2名分
2. 手当	5,370	職員2名分
3. 法定福利費	2,660	職員2名分
4. 退職給与金	1,480	職員2名分
5. 委託料	12,800	配管設計(丹治)・ホップ設計(御園)・管路台帳システムファイリングシステム構築
6. 修繕料	5,280	施設等修繕
7. 工事請負費	112,570	配管(橋屋)・ホップ(檜井)・エレメーター(飯貝-南大野・飯貝-三津) 外
1. 工具器具及び備品購入費	220	浄水場監視室PC(飯貝)
1. 元金償還金	178,240	